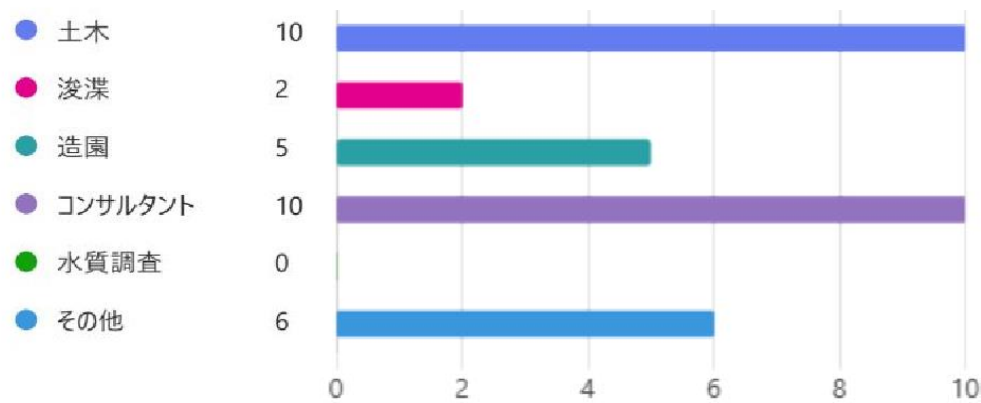


下水道管路施設における官民連携に関する説明会後のアンケート結果について

1. 概要

回答期間：令和7年1月9日～令和7年1月17日
調査方法：Microsoft Forms への回答またはアンケート調査票の提出
回答数：33社
業種区分：下表のとおり

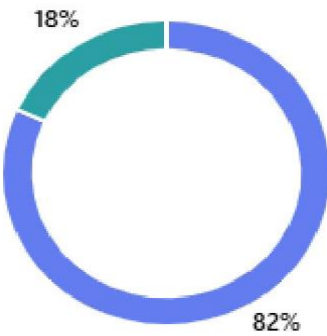


2. アンケート結果

(1) 説明会の内容について

回答数：33社

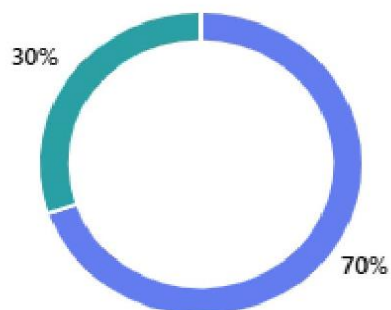
理解できた	27
理解できなかった	0
どちらともいえない	6



(2) 包括的民間委託の参入に対する意欲

回答数：33社

● 意欲がある	23
● 意欲がない	0
● どちらともいえない	10

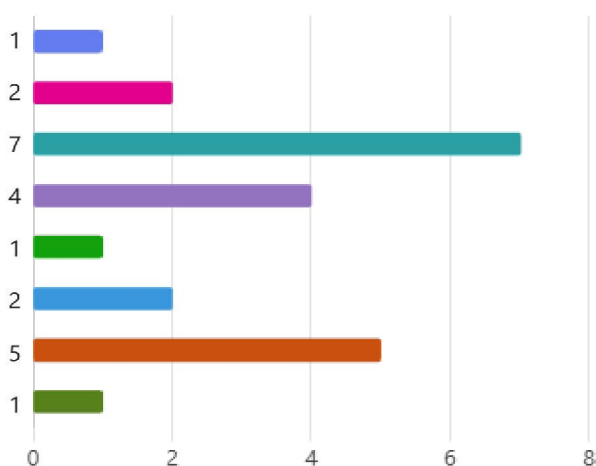


(3) 管路包括的民間委託に参入する際の体制

上記(2)で【意欲がある】と回答した方のみ

回答数：23社

● 貴社単独で参入	1
● 共同企業体（JV）の代表企業で参入	2
● 共同企業体（JV）の構成企業で参入	7
● 共同企業体（JV）の協力企業で参入	4
● 共同企業体（JV）の下請企業で参入	1
● 特別目的会社（SPC）を設立して参入	2
● 今後検討	5
● その他	1

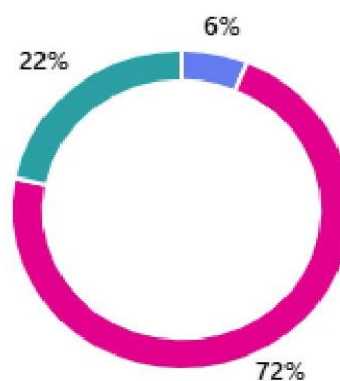


(4) 宝塚市が想定している包括的民間委託の内容について

1) 宝塚市が想定している対象業務について

回答数：32社

● 包括的民間委託の対象業務範囲を広げるべき	2
● 包括的民間委託の対象業務は妥当である	23
● 包括的民間委託の対象業務に問題がある	7

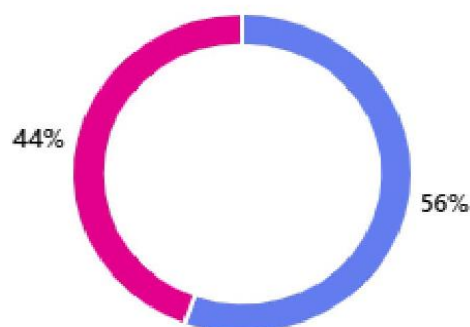


2) 宝塚市が想定している対象業務の数量について

上記1) で【対象業務は妥当である】以外を回答した方のみ

回答数：9社

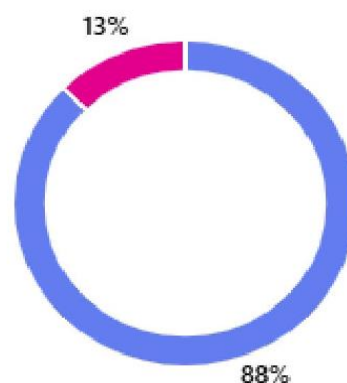
- 包括的民間委託の対象数量は妥当である 5
- 包括的民間委託の対象数量に問題がある 4



3) 宝塚市が想定している対象期間（10年）について

回答数：32社

- 妥当な期間である 28
- 想定期間に問題がある 4



【想定期間に問題がある】と回答した方のご意見

※頂いたご意見をそのまま記載しています。

①	10年が問題があるかどうかは判断できませんが、手探りでの運用開始が想定されるので3～5年程度で1回は自動更新とする等、慎重に決めていくことが必要だと感じられます。
②	5年。
③	長すぎる。新たに天下りや癒着が生まれるのではないだろうか？
④	10年先の状況が把握できない。

3. ご意見等 ※頂いたご意見をそのまま記載しています。

①	・JVの構成企業間での偏りや市内業者間で不平等が生じるおそれのある業務、下請けでおこなうことが現実的に考えて難しい業務が含まれていないか検討が必要ではないか。 ・悪いところを「なおす」業務よりも、どこが悪いかを「把握する」業務を充実させたほうが意義があるのではないか。
②	業務内容を詳しく知りたい。委託後の仕事の流れ及び予算の流れが知りたい。
③	これから水道についても老朽化が進み、更新管路が多くなるかと思いますが水道事業とのバンドリングも検討する必要があるのではないかと思います。
④	○SPCの代表企業または構成企業としての参入を考えています。官民連携事業は、地元企業の理解や事業への参画が重要であることから、地元企業と市外企業が連携できる体制構築の実現が大きなポイントとして考えています。事業の持続性やLCCの最適化など将来を見据えた推進を行ううえで、マネジメント能力を有する市外企業を含めた民間活用が必要となる場合は、その旨を地元企業対して、市から説明して頂くことが重要と考えています。 ○長期にわたる官民連携事業では、地元企業の維持や、地域人材の雇用・育成等が可能となるSPCの設立が望ましいのではないかと考えています。 ○SPCの設立は市内を想定しているため、法人税等の納税も可能となります。 また、構成会社を一つにまとめることで、より一体的な業務が可能となり、PFI法に基づく場合は、SPCの設立が必要となります。 ○現状実施されている契約内容等（業務内容、契約金額、契約期間、受託者等）や改築更新工事の発注状況（件名、工事概要、設計金額、落札金額、落札業者名等）をご教示いただきたい。また、現在の市職員の実施体制（業務内容、職員数など）も併せてご教示いただきたい。更に、設定された事業期間における事業計画の提示と、ストックマネジメント計画及び同計画の裏付け資料等を提供頂きたい。 ○ウォーターPPPは、段階的にコンセッション方式に移行するための官民連携方式であることから、今回の事業は10年後を見据えた移行準備と捉え、よりコンセッションに近い形の事業スキームが望ましいのではないかと考えています。さらに、自治体・住民（地元企業含む）・民間事業者の三方にメリットのある形になることを期待しています。 ○事業開始時の業務引継期間を十分に確保して頂くなど、事業期間中においても、健全な事業運営が可能となる仕組み作りを官民の連携で期待しています。 ○性能発注の導入は、民間の裁量が活かせる仕組み作りが重要になると考えています。具体的な性能規定や指標設定については、官民の意見交換等を踏まえた検討を行って頂くことを期待しています。
⑪	参加させていただき有難うございました。弊社の業務は水道事業と一切関わりございませんが、今後の勉強のために参加させていただきました。また機会がございましたら宜しくお願いします。
⑫	10年の契約期間となると、物価や人件費の増加に対して、契約金額の見直し等は考慮する機会はあると思いますが、それらは考えておられるのでしょうか。

⑬	具体的な数量や金額を提示して頂きたいです。
⑭	質問３ 管路包括的民間委託に参入する際の体制：共同企業体（JV）の協力企業または共同企業体（JV）の下請企業で参入を考えている。
⑮	ウォーターPPPでは、現時点で対応している業務（数量）を施工する事は必須ですが、民間の創意工夫による住民サービス向上が強く求められます、特に「住民対応業務」や「災害時対応業務」においては、対応力が重要であり、受託する企業体では確実に対応できる企業間の連携が必須で、地元企業や大手企業のお互いのメリット（人員・機械・経験・知識）を活かした組織が評価される事を期待しています。
⑯	質問２ 包括的民間委託の参入に対する意欲：弊社では、実施体制に制約があるため、他市の動向も踏まえた上で検討する必要があると考えています。 質問３ 管路包括的民間委託に参入する際の体制：弊社が参入する場合、台帳管理が主になると考えており、その場合は協力企業での参入、もしくは構成企業での参入が望ましいと考えています。 ご意見：・対象業務は他自治体でもほぼ同様の内容であり、妥当と考えますが、内容が多岐に渡るため、それぞれの専門業者や地元企業の参画が不可欠と考えます。 ・各専門業者や地元企業等、組む会社を選定することが、非常にハードルが高いと考えます。（反社企業、経営状態など） ・災害対応は協力は必要であるものの、全責任を民間が実施することは困難だと考えます。
⑰	下水道計画・設計に関連する立場として、パッケージ業務内容が解り難いため、事業内容&想定量を明示してほしい。（雨水P改築設計、MP改築設計、雨污水管耐震設計、その他下水道関連計画策定（広域化計画、総合地震対策計画、雨水総合計画、雨天時浸入水対策計画等））
⑱	業務内容が多岐にわたるため、対象業務全体を統括する「統括マネジメント業務」を業務に含めるとともに、包括的民間委託の事業費に適切に計上いただきたい。
⑲	1、代表企業をどのようにして決めるのか？ 2、大手や中小企業、個人事業主が対等に選べるのであるのか？ 3、市街の大手になった場合、そこの下請け会社ばかりを採用して市内の業者の仕事の数げ減るのではないか？ 4、構成員は誰がどのようにして決めるのか？代表企業の場合、公平に選ぶことができるのか？ 5、天下り、新しい癒着。談合の温床になると思う 6、P12に書かれているヒト、モノ、カネについて以前から分かっていることで、それを今まで無視してきた役所の体質事態が問題であると思う。赤字決済になるめんどくさい事を民間にさせようとする役所の姿勢が見える。予算が無い割には、新しい水道局の建物自体が無駄な建築方法、無駄な土地の使い方だと思う。 宝塚市は都市計画、教育等が完全に失敗しており、数年以内に破綻すると一部の役所に勤めている者から聞く無駄に市の職員が多すぎる。抜本的にすべてを見直す必要が大いにある。

⑳	この度参加させていただきました説明会の内容につきまして、弊社としましては、宝塚市様の目指される方向性に賛同し、積極的に協力させていただきたいと考えております。 弊社は、従来より、納入させていただいたクラウド型通報装置が、安定稼働し、市民の皆様の安全・安心に貢献できるよう、保守業務に尽力しております。宝塚市様が推進される「計画的な保守」は、突発的な不具合を未然に防ぎ、より安定的な下水道システムの運用につながるものと認識しております。弊社が、これまで培ってきた技術力・ノウハウを活かし、計画的な保守体制の構築に積極的に貢献できればと考えております。 「ウォーター PPP」導入にあたりましては、具体的な事業計画、役割分担、契約内容などを明確にさせていただく必要があると考えます。弊社は、これまで通り、宝塚市様、その他企業様と緊密に連携し、協議を重ねていくことで、より良いシステムの構築を目指して参ります。
㉑	・管渠中心の維持管理とならず、マンホール蓋やマンホール本体の維持管理、改築が取り残されることがないように設計をお願いいたします。特に、マンホール蓋は標準耐用年数が他の施設(50年)と比べ短く(車道15年、その他30年)、事故や不具合が多いことから、マンホール蓋の特性を考慮した維持管理を考えていく必要があると考えます。また、マンホール蓋の計画的維持管理、改築を推進するにあたり、マンホール蓋の情報収集整理による全体把握、及び、データベース化が必要と考えます。 ・プロフィットシェアについて、プロポーザル提案等を提出する場合、コスト縮減効果も想定の上で算出すると思われるため、自治体様での利益享受への過度な期待はモチベーションの低下や品質の低下につながる懸念があると考えます。
㉒	わが社にも市役所のOBで下水道の維持管理に携わった経験者がいることから、【住民対応業務】や【問題解決業務】には興味を持っている。しかし、わが社は中小コンサルタントであり、人的資源に乏しいことから、メインメンバーとしての参入は不可能である。そのため、中小コンサルタントでも参入しやすい枠組みを作っていただきたい。
㉓	下水道管路の維持管理においては、仕様発注から開始し、段階的に性能発注への移行していくことが望ましく、まずは維持管理情報を蓄積し、将来はストックマネジメント計画に反映していく仕組みを構築することが望ましいと思います。 また、対象期間中(10年)の物価変動については、発注資料にて対応条件を提示いただければと思います。
㉔	弊社はコンサルタント業務だけではなく、システム構築、データマネジメント等を強みとしております。 計画作成業務や設計業務だけでなく、データ管理業務等で有益なご提案をすることが可能と存じます。
㉕	質問1 説明会の内容について:質疑応答で説明いただきました更新支援型で5年と更新実施型で10年とする案につきましては、業務途中で受託者の構成企業が変わることと契約当初に業務内容に不明点があることより契約の問題とチーム組成時に課題があるため、現実的ではないと思います。 質問2 包括的民間委託の参入に対する意欲:参入意欲はありますが、改築工事が含まれている業務では関係者が多くなり、JVとしてまとまるか、コンサルタントとして中立を理解いただける企業様と組めるか不安です。 質問3 管路包括的民間委託に参入する際の体制:弊社の考えるウォーターPPPは、地元企業が中心となって実施することを基本と考えております。そこで、地元企業中心の業務でSPC設立まではハードルが高いと考えます。

質問 4 宝塚市が想定している包括的民間委託の内容について：下記業務の追加を要望します。

① 統括管理業務

統括責任者と副統括責任者を選任させ、現場の目線とコンサルタントの下支えにより事業運営をスムーズにできると考えます。

② データ整理業務

ストックマネジメント計画の高度化を目指して、下水管路の調査業務や維持管理業務、住民対応業務等のデータ整理業務の追加を要望します。